



学校の教育目標 ゆたかな心もち たくましく実践する子

学校だより

「さぎた」 2025年 9・10月号

発行 瑞穂市立南小学校 TEL058-328-2202

E-mail es-minami@mizuho-gifu.ed.jp

住所 〒501-0322 瑞穂市古橋 1660

「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして 2年生算数 全校授業研究会を開催

「主体的・対話的で深い学び」をすべての教室に実現するため、9月18日（木）、全校授業研究会を開催しました。

午前中はすべての学級が授業公開をして、講師の先生に様子を見ていただきました。

午後の5時間目は、2年2組の算数の授業を全校の教員が参観しました。教室を「コの字型隊形」にして、子ども同士が互いの顔を見られるような机の配置にしました。授業では「ペアの学び」を取り入れ、対話的な学びの機会を保障しました。授業の終末で探究型の学習問題を提示すると、子どもたちは夢中になって学び合い、弾むように学んでいました。

放課後の研究会では、教職員が2年2組の授業についてグループ協議をしました。「子どもたちはどのような学びをしていたか」「授業者はどのように学びをコーディネートしていたか」という視点から交流しました。

講師の岐阜聖徳学園大学 福地 淳宏 教授からは、以下のような認めの言葉をいただきました。



夢中になって学び合っている様子

- ・先生がしゃがんで、子どもの目線に合わせて対話している。子どもと先生に情緒的なつながりがあり、子どもたちの安心感を生み出している。
- ・「わからない。ここ、どうするの」と尋ねることができることはとても大切。助けを求める人は弱い人ではない。人に頼ることができる強い人。頼ることができる人は必ず自立できる。
- ・学び合いに焦点を当てた南小には3つの挑戦がある。教育観を転換し、指導観を転換し、研修観を転換しようと挑んでいる。

令和7年度 後期が始まりました

10月14日（火）に後期始業式が行われました。全校児童が体育館に集まり、落ち着いた雰囲気で行うことができました。2学期制になってから後期開始までの期間が短いですが、気持ちを新たに、後期も全校が一丸となって頑張る「みなみっ子」でいきましょう。

